

飛躍 part 3



2024年（令和6年）
12月24日（火）
第192号

2学期を振り返って2025年への準備を

2学期を振り返ってどんな感想を持っていますか。スタートは本当に暑い夏でした。体育大会の練習も大変でしたね。なかなか練習が上手いかわなくて、心配していましたが、本番では全力でダンスを披露でき、良い体育大会を行うことが出来ましたね。そしてすぐに文化発表会の取り組みが始まりました。限られた練習の中で、上手いかわない場面もありましたが、団結して本番では一番良い歌声を披露することが出来ました。そして連合音楽会、幼中交流会などの行事もやり切り、充実した学期になったのではないかと思います。

学習面では、進路決定に向けて授業も集中して取り組む姿がありました。着実に力を付けて、受験校を決定した人もいますが、思い通りに成績が伸びず、最初に希望していた進路が難しくなった人もいましたね。今後は自分で決めた進路に進めるように、今考えられる最大限の努力をしてください。また自分だけでなく、今まで一緒に頑張ってきた仲間も応援できる雰囲気を作って欲しいと思います。



気がつけば、秋の気配はどこかへ行き、厳しい寒さが突然やってきました。今年は平年並みも寒さと天気予報はっていますが、ここ数年暖冬が続いたので、身に染みる寒さですね。インフルエンザも流行の兆しです。そして中学校生活も残り三ヶ月です。この仲間と過ごす時間もカウントダウンが始まります。残りの生活がより充実したものになるように、また後輩に先輩としての頑張る姿を見せ、78回生全員が笑顔で卒業式を迎えることが出来るように取り組んでいきましょう。

○開業60年を刻んだ東海道新幹線は、起工から開業まで約5年半という『超短期決戦型プロジェクト』でした。1964年に開催された「東京オリンピックに間に合わせる」という事と「安全性を損なわない」というこの2点を達成することは、さぞかし難事業であったに違いありません。1つの手立てを見つければ物事は「できる」といえますが「できない」と断言するには全方向の可能性をつぶさなければいけません」とは、当時技師長を務めた島秀雄さん（1902～1998 宇宙開発事業団の初代理事長も務めた）の持論です。『出来ません』と断ることは割にアッサリいつてのけるのはどういうことだろう」と島さんは書き残しています。

物事に取り組み前から「私には出来ない」「どうせ無理」と挑戦を拒む人がいますね。それ

は否定的な固定観念や思い込みから不要な「限界の壁」を自分で作っているしまっているのかもしれない。限界を突破するには『自身の心の壁』を破ることが必要です。新たな事に挑戦する中で自分でも知らなかった才能が開花するかもしれません。現状維持をすることも大切ですが、新たな事に挑戦し、次のステージに一步踏み出すことで違う未来が開ける事があるのですから。

○染織家の志村ふくみさん（1924年～99歳）は山の麓で桜を切る老人と出会い枝をもらいました。その枝を煮出してみると、とても美しい桜色になりました、ちなみに桜の花びらを集めて染めても灰色がかかった薄緑色になるそうです。志村さんはこれまで多くの実、葉、枝、根で草木染めを行ってきましたが、「色はただの色ではなく、植物の生命が色を通して映し出される」と確信したそうです。

春の花である桜・梅・桃・李は花が咲く直前の樹木の中に『春の色』を蓄えています。暑い夏、霜降る秋、厳寒の冬を経なければその色は出すことが出来ないのです。人も同じではないでしょうか。『自分らしさ』を表現するためには、自分の持っている力を最大限絞り出す努力をした時に出せるものだと思います。それこそが「自分にしか出せない色」になるのではないのでしょうか。



来年1月の時間割です

1月7日（火）

	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	行事
1組	始業式	学活	学活				※上ばき、体育館シューズを忘れないようにしてください。
2組							
のぞみ							
3組							

1月8日（水）

	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	行事
1組	国テ	数テ	社テ	理テ	英テ	任命式	実力テスト 私立高校出願説明会
2組							
のぞみ							
3組							

※9日以降の時間割は7日にお知らせします。

※提出物の確認をしてください。（始業式かテスト後か）

→指定された日に必ず出してください。

※2学期の三者懇談会以降に受験校の変更を考えている人は、早めに担任に相談してください。☆公立推薦も含む（私立高校・高専推薦は変更出来ません。）変更があった場合は、3

学期に再度三者懇談会を行います。

※登校時間が遅くなっている人が増えてきています。5分前行動を意識して下さい。